

書を捨てよ、オフロードへ行こう

未経験者は「オフロード」に、どのようなイメージをお持ちだろうか？

舗装されていない「コボロ」な道で、素人が走ると痛い目に遭うとか、「専用車はシートが高くて足付きが悪い」などちからといふと「それがいい」イメージがあるかもしれない。しかし、実はオフロード向けバイクにはたくさんのメリットがある事を知つて頂きたい。

まず基本的にオフロード車はシンプルなエンジン（シングル・ツイン）と車体で車重が軽く、万が一立ちゴケしても破損が少ない。また、大径ホイールと細身のタイヤで軽快に走る。

そして何より低い速度でバイクの限界挙動を学ぶ事も出来るので基本練習にはもってこいなのである。初心者に限らず、オーバードレースの世界でもオフ

ラーダ、ヤマハXT-1200Z、スズキ「テネリ等のデュアル

バイクと呼ばれるオン・オフ両用車や、カワサキ250TRや、ホンダFTR223、スズキグラストラッカービッグボーン等のミドルクラス・スクランブラー的モデルもある。

ヤマハが発売しているトリッカーやトライアル的要素を持つオフロードバイクだ。

一言でオフロードと言つても

「モトクロス」「エンデューロ」「ラリー」「トライアル」など様々

練習に組み入れているライダーも多い。

最近では純粋なオフロード車以外にも、BMW R1200GSやKTMアドベンチャーライダーや、

DUCATI・HARLEY・MULTI-SPORT

スズキ・KTM・YAMAHA等のデュアル

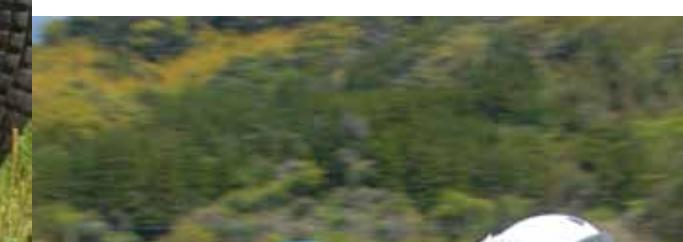
もうじめぐの人に バイクの素晴らしさを 伝えたい

近年、バイクイベントを開催する事はもちろん、今回のDT-1の一件でも、とにかくバイクを通した新たな出会いの多さにビックリしているといふ。自分なりに何かお返しを出来ないものか」と、空港自動車学校ではとにかくバイクへの敷居を低くする事を気に使つてゐるといふ。

シートのあんこ抜きとサスペンションのローダウンを施しているのだ。それもリアサスペンションは超一流のオリエンズ製を元にした空港自動車学校スペシャルチューンなのである。しかし「もちろん、ただ取得しやすい環境を作つているのではなくて、しっかり法規以上の教育もする様に心がけています。バイクで公道に出て事故に遭つて欲しく無いですから」と。

ヤマハ DT-1

- エンジン: 空冷 2ストローク 単気筒 246cm³
- 車重: 112kg
- 出力: 13.6kW (18.5PS) / 6,000r/min
- 最大トルク: 22.6N·m (2.3kgf·m) / 5,000r/min
- Price: ¥193,000 (当時)



写真上: 発売当時グッドデザイン賞を受賞したDT-1はどこから見ても愛くるしい
写真左: このカットを見ればいかにスリムかが良くわかる
写真下: 初期型の特徴としてタコメーターが一回り小さい

